

特集 I

原料／各社動向

提案を推進。ウイルスの吸着を阻害することから、「同素材を含有する製品をゆっくり飲んだり、あるいはこれを用いてうがいしたりすること

でインフルエンザウイルスを不活化し感染を弱めることができるのではな

て、抗ウイルス活性がある。E.Vitro.試験において、抗ウイルス活性があることが明らかになって

いる。研究成果の中には、昨年世界的な流行を見せた新型インフルエンザと同じ型の1918年に流行したスペイン風邪ウイルスに対する抗ウイルス作用が示されているものもある(表参照)。

マヌカハニー、また特有成分MGOを用いた試験で有効性が示唆されたウイルスは、インフルエンザウイルス、ヘルペスウイルス、口蹄疫ウイルスなど。

05年にはインフルエンザウイルス(スペイン風邪ウイルス・H1N1)を感染させた細胞に、マヌカハニーを加えることで、ウイルスが減少していくことが確かめられている。

また同社は来年、包装化したニュージランド産のプロポリスの各種製品を上市する予定である。プロポリスは抗ウイルス作用があることが知られており、インフルエンザウイルスに対する有効性も確認されている。プロポリスをシクロロケムストリンで包接加工することで、ヒリヒリとした味覚や、臭い、粘調な液体で容器にくっつきやすいなどの問題を解決できる。

関連会社のコサナでは、マヌカハニーとプロポリスを組み合わせることで相乗的な効果を期待して開発されたキャンディー、歯磨き粉を発売している。

マヌカハニー

インフルエンザウイルスへの有効性確認

シクロケム

シクロケム(東京都中央区、03・5614・7147)の供給するマヌカハニーは、特有の抗菌成分MGO(メチルグ

リオキサール)を含んでおり、虫歯菌のミュータンス菌や歯周病原菌のギンギバリス菌、ヒロリ菌の除去、腸内細菌の正常

MGOマヌカハニーとその関連物質の抗ウイルス活性が確認された研究報告のまとめ

物質	研究グループ (First Author)	論文発表年	ウイルス	試験タイプ
MGO	Tiffany	1957	ニューキャッスル病ウイルス インフルエンザウイルス	In vitro
MGO	Ghizatullina	1976	口蹄疫原因ウイルス (RNAウイルス)	In vitro
蜂蜜 (濃縮化水素)	Zenina	1996	風疹ウイルス	In vitro
MGOマヌカハニー	French	2002	単純ヘルペスウイルス1型 (HSV-1)	In vitro
蜂蜜 (濃縮化水素)	Al-Waili	2004	陰部感染ヘルペスウイルス	局所的療法
MGOマヌカハニー	Watson	2005	インフルエンザウイルスA (H1N1)	In vitro
MGOマヌカハニー	Waikato Univ	2009	アデノウイルス 単純ヘルペスウイルス	In vitro

ハチミツ、

また同社は来年、包装化したニュージランド産のプロポリスの各種製品を上市する予定である。プロポリスは抗ウイルス作用があることが知られており、インフルエンザウイルスに対する有効性も確認されている。

また同社は来年、包装化したニュージランド産のプロポリスの各種製品を上市する予定である。プロポリスは抗ウイルス作用があることが知られており、インフルエンザウイルスに対する有効性も確認されている。

また同社は来年、包装化したニュージランド産のプロポリスの各種製品を上市する予定である。プロポリスは抗ウイルス作用があることが知られており、インフルエンザウイルスに対する有効性も確認されている。